

かまやいちごうふん
「釜屋一号墳」

- 指 定 千曲市指定史跡 昭和 62 年 1 月 27 日
- 所 在 地 千曲市大字上山田 1197 番地 13
- 所 有 者 智識寺ちしきじ
- 概 要 円墳 指定面積 50 m²、直径 8m・高さ 2m
- 時 代 古墳時代後期
- 公 開 いつでも可

古墳時代後期の古墳と推定されます。釜屋二号墳ともいわれるものがありましたが、工事により壊されたと伝えられています。

女沢川古墳群めざわがわこふんぐんちゆう中の南端に位置し、女沢川めざわがわと寺沢川てらさわがわによって形成される扇状地のやや南寄りの位置にあります。

規模は直径 8mの古墳で観音林古墳かんのんぼやしこふん（市指定史跡）と同規模のものです。内部構造は明らかになりませんが、伝承によると昭和の初期頃までは石室内に出入ができたとのことなので、横穴式石室よこあなしきせきしつとみられ、観音林古墳の横穴式石室と同様とみられます。

